

# 対 策 計 画 書

届出者	住所	大阪府三島郡島本町山崎2-1-7	氏名	ナルックス株式会社 代表取締役社長 北川 清一郎
特定事業者の主たる業種		18プラスチック製品製造業（別掲を除く）		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		超精密加工金型の開発、およびナノ精度素子（プラスチック光学素子・ガラス光学素子・レンズユニット・光モジュール等）の開発・製造・販売を行っており、府内の事業所としては、大阪府三島郡島本町に本社および山崎工場、大阪府東淀川区に大阪工場がある。		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間		2019 年 4 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		3,128 t-CO <sub>2</sub>
基準年度における温室効果ガス総排出量（平準化補正後）		3,446 t-CO <sub>2</sub>
(3) 温室効果ガスの削減目標（目標年度の対策後排出量）		3,075 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガスの削減目標（目標年度の対策後排出量(平準化補正後)）		3,388 t-CO <sub>2</sub>

選択		目標削減率（排出量ベース）	%
	レ	目標削減率（原単位ベース）	3.1 %
		目標削減率（平準化補正ベース）	3.0 %

目標削減率に関する考え方

当社は大阪府内ではプラスチック成形・蒸着加工および精密金型加工を行っている事から、本計画書では当社の使用エネルギーの大半を占める電力使用効率の改善を行い、2018年度を基準年度として2019年度から2021年度までに毎年1%（2021年度に2018年度基準で3%削減）の原単位の改善および温室効果ガスの削減に努めます。各年度の削減率評価は「各年度の温室効果ガス排出量÷各年度の加工高」を原単位として改善活動を行います。

具体的な案件として、2019年度の大阪工場から山崎工場への蒸着工程の移管・統合、2020年度以降の太陽光発電の設置の検討等電力使用量の削減施策と良品率向上による加工高の改善効果で原単位の改善に取り組みます。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	t-CO <sub>2</sub>	吸収量による削減率	%
-------------	-------------------	-----------	---

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容（目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入）

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値（加工高）  
 （温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法）

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

環境マネジメントシステム（ISO14000）は認証取得済み。推進体制としては常務執行役員をエネルギー管理統括者とし、また、エネルギー管理企画推進者を山崎工場に配置し、全社EMR会議（概ね月1回開催）にて改善状況の報告並びに改善活動方針の協議を実施しております。